

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場会社名 大西電気株式会社
 コード番号 3095 URL <http://www.ohnishidenki.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 大西 俊一
 (氏名) 多田 敏洋

TEL 075-693-5231

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第2四半期	7,123	—	458	—	476	—	276	—
20年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	126.25	—	124.66	—
20年3月期第2四半期	—	—	—	—

(注) 当社は、平成20年2月26日付でジャスダック証券取引所に上場しているため、20年3月期第2四半期に係る実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	％	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	6,762	2,454	2,454	2,266	36.3	1,110.49	1,046.38	
20年3月期	6,458	2,266	2,266	2,266	35.1	1,046.38	1,046.38	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,454百万円 20年3月期 2,266百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期(予想)につきましては平成20年9月30日に公表しました内容から変更をしておりません。詳細につきましては平成20年9月30日付の「平成21年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	円 銭
通期	14,300	1.3	850	12.4	870	27.1	540	33.8	245.57	245.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 2,210,500株 20年3月期 2,166,500株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 78株 20年3月期 78株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 2,187,586株 20年3月期第2四半期 1,870,000株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の連結業績予想につきましては平成20年9月30日に公表しました内容から変更をしておりません。詳細につきましては平成20年9月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、原油価格などの資源価格は下落方向に転じているものの、サブプライムローン問題に端を発した金融不安は米大手金融機関の破綻を引き起こし、大きな影響を及ぼす不確定要因を抱えてしまいました。それに伴い、企業における生産活動も弱含みの傾向となりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、ゲーム機、薄型テレビ、デジタルカメラ、ノートパソコン等の出荷は好調に推移し、また、携帯音楽プレーヤーや次世代光ディスクプレーヤーも順調に推移しました。しかし、半導体製造装置は、DRAM・NAND型フラッシュメモリ価格の底打ち感がみられるものの、半導体メーカーの設備投資が進まないに伴い低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、魅力ある新商品の開拓や営業活動をグローバルに展開し、ゲーム機、ノートパソコン用電池用部材、薄型テレビ、フラットパネルディスプレイ製造装置、半導体製造装置、医療機器、RFID等の分野を中心として積極的な拡販活動に取り組みました。

(1) 売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は71億23百万円となり、品目別は下記のようにになりました。なお当社グループは、単一事業であり事業の種類別セグメントを作成しておりませんので、商品の品目別の売上高を記載しております。

- ・電気材料につきましては、据え置き型ゲーム機及びその関連機器、携帯ゲーム機に使用される関連材料の販売が好調に推移しました。その結果、売上高は26億14百万円となりました。
- ・電気部品につきましては、ノートパソコンや携帯電話用の保護回路に使用される電池関連部品、ゲーム機関連部品、その他各種電気機器向けコネクタの販売が好調に推移しました。その結果、売上高は24億10百万円となりました。
- ・電気モジュールにつきましては、液晶製造装置関連部材、太陽電池関連の製造装置向けの販売が好調に推移しました。その結果、売上高は13億48百万円となりました。
- ・フラットパネルディスプレイ関連材料・部品につきましては、国内向けの関連材料・部品の販売が堅調に推移しました。その結果、売上高は4億円となりました。
- ・無線周辺機器関連材料・部品につきましては、ICタグ・アンテナなどの部品販売に加え、ソフトとハード一体型のシステム販売を推進しましたが、新規顧客の開拓が遅れております。その結果、売上高は1億22百万円となりました。
- ・その他、工場内で使用される静電気対策製品や安全衛生関連製品等を販売しました。その結果、売上高は2億27百万円となりました。

(2) 営業利益

人件費及びその他営業に係る費用の発生等により販売費及び一般管理費が7億26百万円となったため、営業利益は4億58百万円となりました。

(3) 経常利益

主に為替差益の発生及び受取配当金等の計上により営業外収益が19百万円となったため、経常利益は4億76百万円となりました。

(4) 四半期純利益

法人税、住民税及び事業税を1億88百万円計上したこと等により、四半期純利益は2億76百万円となりました。

(注)1. DRAM: 半導体記憶素子。情報の記憶が電荷で行われ、電荷が通っているうちは情報を蓄積することができる。安価であるためパソコンやサーバ等のメインメモリとして使用されることが多い。

2. NAND型フラッシュメモリ: 半導体記憶素子。回路規模が小さく、デジカメ、携帯電話や携帯音楽プレーヤー等に使用されることが多い。

3. RFID: 微小な無線半導体集積回路により人やモノを識別・管理する技術。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、60億78百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億79百万円、未収入金が3億30百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1億99百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、6億84百万円となりました。これは、投資有価証券が時価評価替えの影響等により23百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、67億62百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、40億72百万円となりました。これは、短期借入金が2億35百万円増加し、買掛金が49百万円、未払金が87百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%減少し、2億34百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が9百万円増加し、長期借入金が27百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、43億7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、24億54百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億89百万円増加したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、当初予想に比べ携帯電話、ノートパソコン用の電池関連に使用する保護回路用電気部品や据え置き型ゲーム機及びその関連機器、携帯ゲーム機に使用される電気材料の販売が好調に推移しました。反面、フラットパネルディスプレイ関連材料・部品は計画通りに推移しました。そのため、当初予想に比べ、若干の増収になりました。利益面につきましては、電気材料と電気部品の販売伸長と、売上総利益率の低いフラットパネルディスプレイ関連材料・部品の占有率が下がったことにより収益の改善ができました。

第3四半期・第4四半期につきましては、第2四半期連結累計期間に続いてゲーム機関連の電気材料や無線周辺機器関連材料・部品の販売が堅調に推移する見込みです。しかしながら、サブプライムローン問題に端を発した景気後退により、特に半導体業界の不振が長引いており、電気モジュール等の販売が低調に推移する見込みです。

販売費及び一般管理費につきましては、前期に比べて、優秀な人材の充実に向けた採用・教育関連費用、情報システム投資、上場会社としての必要運営費用等により増加を見込んでおります。

その結果、平成21年3月度の通期の連結業績予想は、売上高143億円、営業利益8億50百万円、経常利益8億70百万円、当期純利益5億40百万円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

経過勘定項目の算定方法
未払費用については、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- (1) 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- (2) 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
この変更による損益に与える影響額は軽微であります。
- (3) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。
この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	638,889	838,775
受取手形及び売掛金	3,563,070	3,383,942
商品	269,556	238,433
未収入金	1,540,910	1,209,981
その他	67,559	60,725
貸倒引当金	△1,720	△1,861
流動資産合計	6,078,265	5,729,996
固定資産		
有形固定資産	199,140	202,990
無形固定資産	42,359	42,888
投資その他の資産		
その他	445,797	484,755
貸倒引当金	△3,295	△2,364
投資その他の資産合計	442,501	482,390
固定資産合計	684,001	728,269
資産合計	6,762,267	6,458,266

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,560,877	2,610,098
短期借入金	235,506	—
1年内返済予定の長期借入金	68,000	104,710
未払金	845,282	932,648
未払法人税等	191,212	154,526
賞与引当金	71,548	51,647
役員賞与引当金	34,750	40,000
その他	65,588	44,491
流動負債合計	4,072,765	3,938,121
固定負債		
長期借入金	5,000	32,960
退職給付引当金	2,634	2,091
役員退職慰労引当金	227,015	217,956
その他	194	227
固定負債合計	234,844	253,235
負債合計	4,307,609	4,191,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	433,182	427,682
資本剰余金	161,602	156,102
利益剰余金	1,813,120	1,623,598
自己株式	△78	△78
株主資本合計	2,407,826	2,207,304
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,510	78,269
為替換算調整勘定	△9,679	△18,664
評価・換算差額等合計	46,830	59,604
純資産合計	2,454,657	2,266,909
負債純資産合計	6,762,267	6,458,266

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,123,746
売上原価	5,938,157
売上総利益	1,185,589
販売費及び一般管理費	726,796
営業利益	458,792
営業外収益	
受取利息	525
受取配当金	3,185
為替差益	14,968
その他	825
営業外収益合計	19,505
営業外費用	
支払利息	1,121
株式交付費	1,031
その他	50
営業外費用合計	2,203
経常利益	476,094
特別損失	
投資有価証券評価損	2,792
出資金評価損	3,622
特別損失合計	6,415
税金等調整前四半期純利益	469,679
法人税、住民税及び事業税	188,232
法人税等調整額	5,268
法人税等合計	193,500
四半期純利益	276,178

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

当社は、平成20年2月26日付でジャスダック証券取引所に上場しているため、平成20年3月期第2四半期連結損益計算書については記載しておりません。

6. その他の情報

特に記載すべき事項はありません。